

年齢は41歳代にあるが、C地域においては36歳代と他地域に比較して格段に低い状況にある（表2-3-7）。

また、昭和51年度における公立中学校教員の平均勤務年数を地域別にみると、特A、A、Bの各地域は19年とほぼ同じであるが、C地域においては14.3年であり、他地域に比べ平均勤務年数は低いといえる（表2-3-8）。

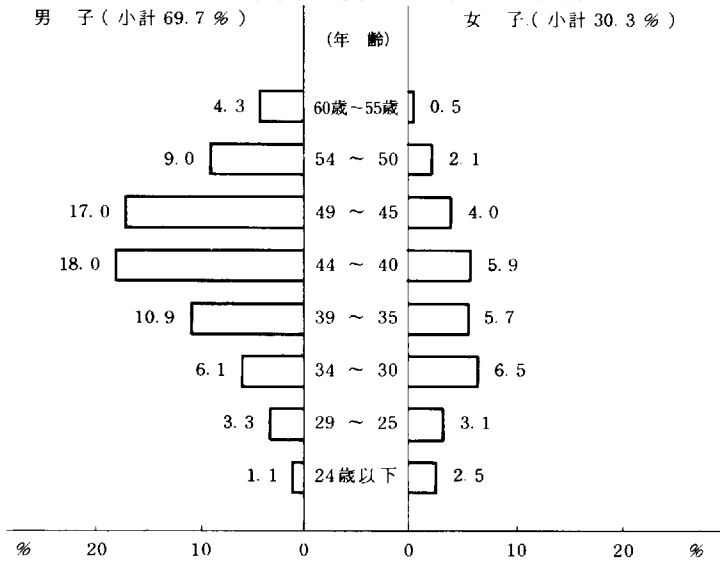
一方、昭和49年度の公立中学校教員の学歴構成をみると、学歴区分が大学卒のもの52.2%、短大卒のもの35.5%、高校卒のもの12.3%となっており、大学卒のものが公立中学校教員全体の半数以上を占めている（図2-3-20）。

なお、昭和49年度の公立中学校において学歴区分が大学卒の占める割合を全国平均でみると、58.0%であり、本県は全国平均に比べ、5.8ポイント低くなっている。

昭和49年度の本県における公立中学校教員の免許状所有状況をみ

ると、公立中学校教員全体に対し中学校教諭一級普通免許状所有者は72.3%、次いで教諭二級普通免許状所有者が25.3%となっている。なお、臨時免許状所有者は0.2%であり、公立中学校教

図2-3-19 公立中学校教員性別・年齢別の割合



注：1. 「義務教育課調査」(昭51)による。

2. 割合 = (男女別年齢別教員数) ÷ (教員数) × 100

表2-3-7

地域別にみた中学校教員の平均年齢

(単位：歳)

地域	年齢
特 A	41.4
A	41.3
B	41.9
C	36.1

注：1. 「総務課調査」(昭51)による。

2. 地域区分は、「小学校教育第2項教職員組織」図2-2-14の注による。

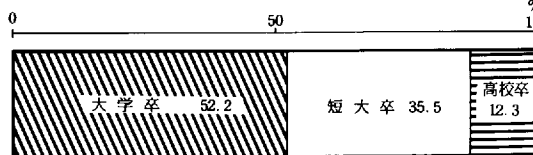
表2-3-8

勤務年数でみた公立中学校教員の地域別配置状況

(単位：年)

地域	年数
特 A	19.0
A	19.4
B	19.8
C	14.3

図2-3-20 中学校教員の学歴別構成の割合



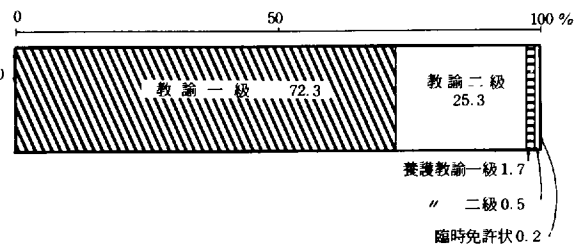
注：1. 「教育調査報告書」(昭49)による。

2. 公立中学校教員784人の抽出調査による。

3. 対象学歴は学歴区分による。

4. 割合 = (対象学歴数) ÷ (抽出中学校教員数) × 100

図2-3-21 中学校教員の普通免許状所有の割合



注：1. 「教育調査報告書」(昭49)による。

2. 公立中学校教員784人の抽出調査による。

3. 割合 = (免許状種別教員数) ÷ (抽出中学校教員数) × 100